ギフトルドン「〜ながラー」の活動イメージ

「〜ながラー」になったら、アートと多様なひと・事柄を結び、地域をうるおすことを目指します。

社会の中の課題を「自分ごと」として考え、美術館が取り組む活動や、自主的なグループ「舟」での活動に取り組みます。家や学校、職場とは違う、第三の場である美術館。
さまざまな関心をもつ多様な人々と出会いながら、活動がスタートします！

アクセシビリティ

誰もが安心して美術館で過ごし、作品との出会いを楽しめるような活動をつくりだします。

美術館をより多くの人が楽しめる場にするため、アクセシビリティについて学び合いながら活動します。当事者や関係者の声に耳を傾け、誰もが安心して作品との出会いを楽しめる居場所づくりに取り組みます。

人びとと

アートや文化芸術を介して人々とのつながりを育み、来館者が美術館をより楽しめる活動をしています。

美術館を舞台にしたアイデアを持ち寄り、ミーティングを重ね、試行錯誤を繰り返しながら「舟」の活動を実践します。

ギフトルドン

誰もが安心して楽しめる居場所にするために、
健康・福祉に関わる活動など、美術館の事業と「〜ながラー」が一緒に、
地域の方と緩やかにつながりながらアートを
軸にした活動をします。

地域と

アートや文化芸術を通して地域の人や団体とつながり、一緒に活動しながらよりよい関係づくりを進めます。

・こよみのよぶね

・明後日朝顔プロジェクト

地域のアートプロジェクトに参加し、アートコミュニケーターならではの関わり方を模索します。

健康と（文化的処方）

一人ひとりが健康で自分らしく過ごせる体験や居場所をつくり、「豊かなつながり」づくりを進めています。
（文化リンクワーカーとの連携）

・文化リンクワーカーによる文化的処方

学校と

美術館を学びの場として来館者がともに考え、活動する取り組みに伴走します。

子どもたちや来館者が美術館での体験を通して学びを深められるよう伴走しています。

ギフトルドン

REDON × GIFU ART Project
ルドンと人と社会が一つになる活性化プロジェクト

アーティストや、美術館にまつわる人、岐阜にゆかりのある人々と出会い、創造とコミュニケーションの場をつくります。
作品や人を通して社会とつながりながら、活動を広げていきます。